



はぐくみ

心ゆたかにたくましく 笑顔であいさつ！

立花北小 校長室だより

令和7年4月23日発行 No.1

発行者：佐野 正信

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E26/index.html>

ちょっとのやさしさを広げよう！

新学期ももうすぐ3週間、築山のツツジもきれいに咲いてきました。4月の朝会で子どもたちにこんなお話をしました。

『新しいクラスや友達、先生にはもう慣れましたか。新しい環境でも全然平気だよ…という人もいでしょう。そんな人は、もしお友達と盛り上がっている時、ちょっとまわりを見回してみてください。自分から「仲間に入れて」って言うのが苦手な人がいるかもしれません。そういう人に気づいたら、ぜひ優しい声かけをしてあげてほしいと思います。実は、この前卒業していった今の中学1年生は、やさしく声をかけたり、声をかけずにそっとしておいたり、そのお友達に合った接し方ができる人がたくさんいましたよ。すごいですね。立花北の子は、「たくましい体と豊かな心の子ども」がいっぱいいます。「豊かな心」の中のちょっとのやさしさをまわりに広げてくれたら校長先生はうれしいです。』



『もう一つ、校長先生からは「一年生をよろしくね」というお話をします。今年は73名の一年生が入学してきましたよ。皆さんの中には自分が1年生の頃のことを覚えている人もいでしょうか。先週は元気いっぱいだった1年生、今週に入って、学校の前で止まってしまったり、なぜか理由がわからないけれど涙が止まらなくなったりする子が出てきました。先週一週間、とっても頑張った1年生ですが、今週はちょっと電池が切れちゃったのかもしれません。でもね、そもそも悲しくなっちゃうことって、悪いことではないのです。人ってね、そんな時もあるのです。いつも元気で笑ってばかりではいけない…それは、子どもも大人も同じなのです。悲しくなったって、大騒ぎしないで「そんなときもあるよ」ってね、やさしくまわりの人は見守ってあげてほしいのです。入学式で校長先生は「立北には、やさしいお姉さん、お兄さんが沢山いるよ」と1年生にはお話しています。どうか、一年生のことをよろしくお願いしますね。やさしくしてあげるだけではありませんよ。例えば、学校前の横断歩道、信号が点滅しても思い切って渡ってしまおうとする人、いますよね。気持ちはわかります。でも、もしかしたら後ろから1年生がついてきているかもしれませんよ。そんな「・・・かもしれない」というような、見えないことを予測できる（思い浮かべる）ことができることが皆さんの「心の成長」です。立北の皆さんには、見えないものを見ようとする子、感じようとする子になってほしいと思います。』

『今週末は、いよいよ一年生を迎える会がありますよ。児童会の人たちが一生懸命に準備をしてくれていることと思います。そして皆さんの力で、緊張している一年生がホッとできるような楽しい会ができるといいですね。これで校長先生のお話を終わります。』こんなお話でした。週末の迎える会は、すてきな会になりました。



昨日のことです。通学途中でこけてしまい、顔をすりむいて泣きべそをかいていた1年生がいました。その場に居合わせた6年生の男の子が、やさしく手をつないで保健室まで連れて行ってくれたのです。立北の子どもは本当にやさしい子が多くて、校長先生は、とてもうれしく思います。

『8時20分登校』と『笑顔であいさつ』

今年は、子どもたちに「8時20分までに校門を通りましょう」とお話しています。それにむけて、ご家庭ではぜひ、夜更かしをしないよう、また、朝ごはんをきちんと食べられるよう、ご協力をお願いします。また今年から、年間生活目標を「笑顔であいさつ」と変更しました。そのように決めておけば、笑顔でないときに「どうしたの?」「大丈夫?」とまわりが気づくことができるからです。一方では、笑顔でなくてもいい、そんな時もある…と、大人も子どもも安心して自分らしくいられる…そんな立花北小でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。校長 佐野 正信